



2014年 阿南工業高校 生徒保健委員会

2014年はどんな一年でしたか。一年の締めくくりをし、元気に新年を迎えましょう。年末年始にかけて、お酒の出る席に同席する機会もあるかもしれません。未成年のアルコール摂取は、健康への影響から、法律で禁止されています。アルコールについての知識を深め、適切な行動がとれるようにしましょう。

今月の保健だよりは13HR保健委員が担当しました

アルコールの影響

	爽快期	ほろ酔い	酩酊前期	酩酊後期	泥酔期	昏睡期
アルコール濃度	大瓶 350ml 缶	2本	4本	6本	8本	10本
酒量の目安	0.02~0.04%	0.05~0.1%	0.11~0.15%	0.16~0.3%	0.31~0.4%	0.41~0.5%

(酔い方には個人差がある)

- ★酒酔い運転による死亡事故発生率は、通常時の30倍である。
- ★未成年者は発育途上にあるのでアルコールの影響を受けやすい。

急性アルコール中毒

★急性アルコール中毒とは?

飲酒により意識レベルが低下し、嘔吐、呼吸状態が悪化するなど危険な状態に陥ります。

若年者はリスクが高まり、とくに大学や新社会人では『一気飲み』として飲酒させられ、死するケースが毎年発生しています。

急性アルコール中毒には十分気をつけて、一気飲みはしないようしましょう!!

酒の広告への各国の対策

国名	対策方法
カナダ	酒のパッケージも含め、未成年者を引きつけよう広告の禁止。
ギリス	未成年者を引きつけ広告はしない。登場人物は25歳以上で成年に見えることなど。
フランス	テレビや映画での広告の禁止。酒造業者がスポーツやコンサートのスポンサーにすることを禁止。
日本	平日のam 5:00~Pm 6:00までは広告はしない。(土日祝日についてはPm 0:00以後可)未成年者を広告のモデルに使用しない。など
オーストリア	蒸留酒のテレビ・ラジオ広告を禁止。酒造業者がスポーツやコンサートなどのスポンサーにすることを禁止。など

酒の広告への対策は日本でも酒業界の自主的な基準によって取り組みが進められているが、世界ではさらに進んで法律によって広告の内容や表現なども規制している国もある。